

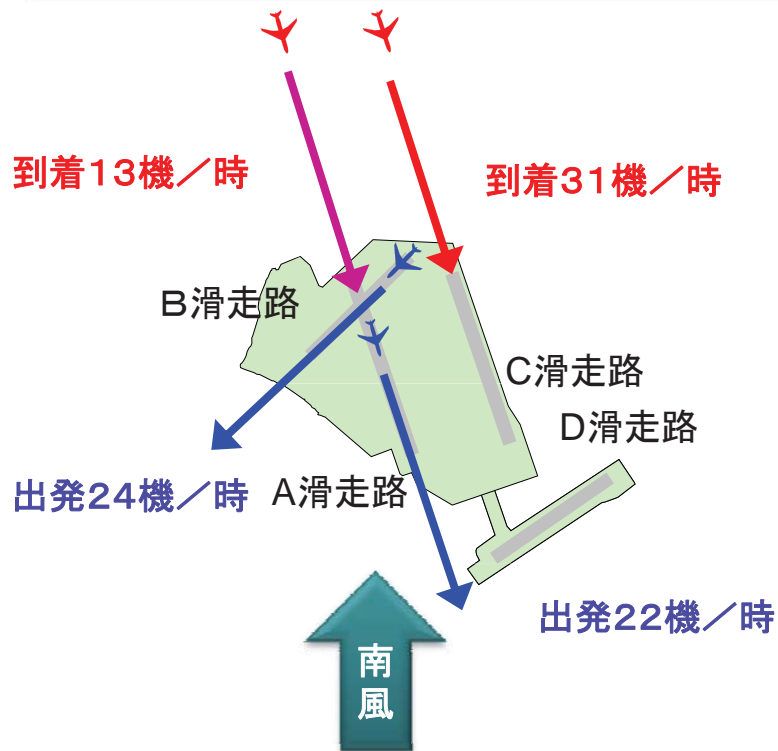
南風運用時の新経路案(1時間あたり90回の離着陸)

南風運用時の新たな経路案

(時間値90回、南風運用比率は約4割と想定)

※15時～19時までのピーク時間(3時間+前後30分の移行時間帯)に飛行時間を制限する想定

運用にあたっては、飛行時間を国際線の離着陸が集中するピーク時間帯(15時から19時の4時間)に限定する等により、陸域での騒音影響を軽減することを想定。

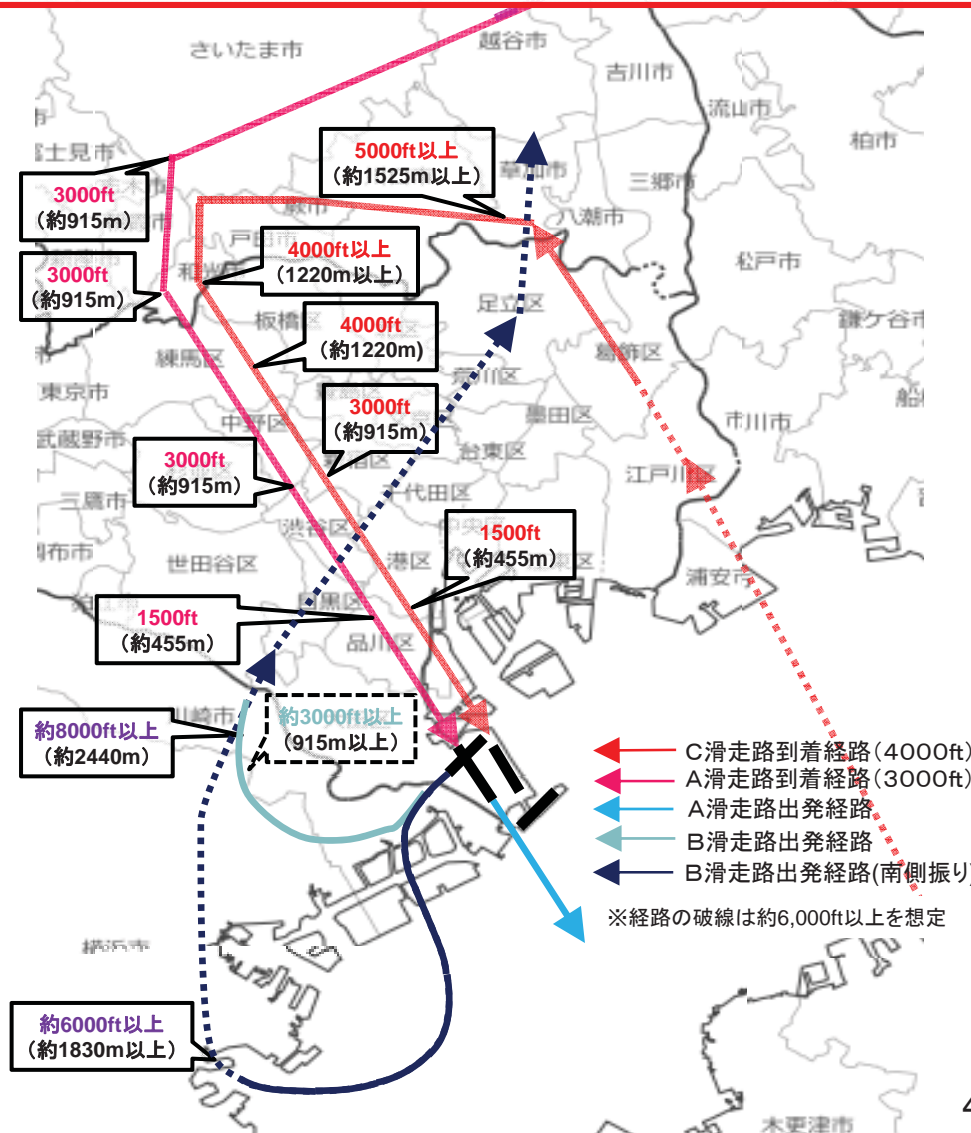


→ 離陸(計46回)

→ 着陸(計44回)

離陸・着陸合計: 90回

※出到着及び南風時・北風時の時間値を同数にして運用すると仮定すると、出発44回、到着44回(合計88回)となる



具体的な経路運用の詳細については、今後の関係者との調整、管制運用上の検証を踏まえ、引き続き検討していく。